

平成17年度追加予定の新機能・改良について - EPOC新バージョン(Ver. 2.0)の概要 -

本著作物は、EPOC参加施設が施設内(プログラム管理型病院にあっては、協力型病院等を含むものとします)の教職員・学生等への説明に利用する場合にのみ、施設内(プログラム管理型病院にあっては、協力型病院等を含むものとします)に限定した提示・印刷配布を許諾します。それ以外の利用の場合には、必ず事前に著作権者への利用許諾依頼をお願いいたします。

大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)
木内貴弘

EPOCプログラムの改訂スケジュール

平成16年10月末	EPOC ver. 2.0 オンライン申請システムの仕様確定
平成16年11月	EPOC ver. 2.0 オンライン申請システム開発開始
平成16年12月末	EPOC ver. 2.0 オンライン申請システムの開発終了 EPOC ver. 2.0 全仕様確定
平成17年 1月	EPOC ver. 2.0 オンライン申請システム稼働 EPOC ver. 2.0 本体開発作業開始(要約機能除く)
平成17年 2月末	EPOC ver. 2.0 本体開発作業終了(要約機能除く)
平成17年 3月末	EPOC ver. 2.0 本体動作確認完了(要約機能除く)
平成17年 4月	EPOC ver. 2.0 本体稼働(要約機能除く) 平成17年度新研修運用システムの稼働 平成16年度新研修運用システムの移行
平成17年10月	EPOC ver. 2.0 本体全稼働(要約機能含む)

EPOC Ver. 2.0開発の基本方針

上位互換性の確保(平成16年度新研修医も利用)
従来実現の機能はすべて実現
基本的な使い方は同じになるようにする

1. 発生した問題点の解決
使いにくい点等の改良
2. 新機能の実現
要望の多かった事項について機能を追加
3. 運用の省力化
オンライン申請システムの開発

1. 発生した問題点の解決(1)

同一時期に同じ研修医に複数の指導医を指定できない
診療科の責任者が、管轄する診療科の研修医・指導医の評価を参照できない



診療科毎に参照権のみ有するユーザを指定可能にする

同一時期に同じ研修医に複数指導医を指定する機能
平成18年度以降に実現を検討

1. システムが複雑になり大規模な改造必要
2. システム運用基準の詳細な検討が必要
例・何人まで指導医を割り当てられるようになるか
・指導医の評価をどのように融合するか
・画面表示をどうするか

1. 発生した問題点の解決(2)

同時期に同じ研修医に複数のブロックを割り当てられない
(例:内科・外科研修期間中の毎週火曜日夜に救急研修を割り当てる)



救急医学及び地域医療について、他のブロックと重複した割当が可能となるようにする

このような運用法が正当であることをEPOC運営委員会が保証するものではありません。

1. 発生した問題点の解決(3)

外科症例レポート、CPCレポートの入力項目が各ブロックに出現する(各々研修期間中に1度提出すればよい)ため、各ブロック毎に提出しなければならないように誤解する。

指導医がレポートを回収していない場合には、指導医がチェックできないので、臨床研修統括部門でチェックできるようにしたい。

II. 経験目標項目 A) 経験すべき診察法・検査・手技 6. 医療記録
外科症例レポート

II. 経験目標項目 B) 経験すべき症状・病態・疾患 3. 経験が求められる疾患・病態
CPCレポート



外科レポート、CPCレポート入力欄をブロックとは独立に設ける、
臨床研修統括部門で、レポート提出のチェックができるようにする。

1. 発生した問題点の解決(4)

研修目標評価項目及び指導状況評価項目で追加できる研修プログラム独自の項目の上限が少ない

1. 研修目標評価項目
経験目標(2段階評価):大項目2個、小項目10個まで追加可能
経験目標(3段階評価):大項目2個、小項目10個まで追加可能
2. 指導状況評価項目
10個まで

上限の拡大を行う

1. 研修目標評価項目
経験目標(2段階評価):大項目5個、小項目30個まで追加可能
経験目標(3段階評価):大項目5個、小項目30個まで追加可能
2. 指導状況評価項目
30個まで

2. 新機能の実現(1)

研修プログラム独自の臨床研修用HPへのリンクをEPOC内から設定して欲しい。

研修プログラム独自の臨床研修用HPをEPOC全ページから、リンクする
(研修プログラム独自の臨床研修用HPのURLは、プログラム管理者がEPOCに入力する)

2. 新機能の実現(2)

EPOCデータのCSVファイル(エクセルで読める)への出力をできるようにして欲しい。

出力可能なインターフェイスを作成する

2. 新機能の実現(3)

臨床研修終了時に
臨床研修終了証書と一緒に手渡せるような
臨床研修評価データの要約を印刷できるようにして欲しい。

臨床研修評価データの要約を印刷できるようにする。
(どのような形で集計して、要約するかについては検討中)

3. 運用の省力化

利用申請手続きに多大な労力がかかる

利用申請手続きのオンライン化

新規利用申請(EPOC管理用IDが未発行)
オンラインによる新規申請書作成 印刷 郵送

継続利用申請(EPOC発行済管理用IDを利用)
完全なオンラインによる継続申請

平成18年度以降の課題(1)

コメディカルスタッフ等からの評価の入力ができるようにして欲しい。

標準的な評価項目を策定
標準的な評価項目 + オプション追加項目で運用

平成18年度以降の課題(2)

同一研修医の同一ブロックへの複数指導医の割当



実現方法を検討